Canon EF LENS

EF300mm f/2.8L IS II USM
EF400mm f/2.8L IS II USM

ULTRASONIC

IMAGE STABILIZER

キヤノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

キヤノンEF300mm F2.8L IS II USM、キヤノンEF400mm F2.8L IS II USMは、手ブレ補正機能を備えた、EOSカメラ用高性能超望遠レンズです。

● ISはImage Stabilizer（手ブレ補正機能）の略称です。
● USMはUltrasonic Motor（超音波モーター）の略称です。

特長

1. シャッター速度換算で、約4段分*の手ブレ補正機能を備えています。
   また不規則に動く被写体を撮影する場合に有効な手ブレ補正モード3を備えています。
2. 蛍石レンズを採用することにより、優れた描写性能を実現しています。
3. SWC（Subwavelength Structure Coating）を採用することにより、フレアやゴーストの発生を低減しています。
4. 最前面と最後面のレンズ面に、フッ素コーティングを採用することにより、付着した汚れを従来と比べて簡単に取り除くことができます。
5. 超音波モーター（USM）搭載により、高速で静かなオートフォーカスを実現しています。
6. オートフォーカスモード（ONE SHOT AF時）のまま、合焦後にマニュアルでピント調整ができます。
7. オートフォーカス作動を一時中断することができる、AFストップボタンを備えています。
8. スムーズなピント送りが行える、パワーフォーカスモードを備えています。
9. 事前に記憶させておいた位置に、瞬時にピントを合わせることができる、フォーカスプリセット機能を備えています。
10. 円形絞りの採用により、なめらかで美しいボケ味が得られます。
11. エクステンダー EF1.4×III/EF2×IIIが使用できます。
12. 画面切り替えロックつまみのカバーの下に、セキュリティーワイヤーの取り付け部を備えています。
13. 密閉構造の採用により、優れた防塵・防滴性能を備えています。
14. 主要部分にマグネシウム合金を採用した軽量設計になっています。

* ［1/焦点距離］秒を基準にしています。
  一般に手ブレを防ぐためには「1/焦点距離」秒以上のシャッター速度が必要といわれています。

⚠ 安全上のご注意

- **レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。**視力障害の原因となります。
  特に、レンズ単体で直接太陽をのぞかないでください。失明の原因になります。
- **レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラを日光の下にレンズキャップを付けないまま放置しないでください。**太陽の光が焦点を結び、火災の原因となることがあります。
- レンズをカメラに取り付けた状態では、三脚の取り付けを含めてレンズ側を必ず保持してください。カメラ側のみを保持した場合、カメラボディやレンズ本体を傷つける恐れがあります。またマウントからレンズが外れ落下して、けがをすることがあります。
- カメラに取り付けたストラップは使用しないでください。マウントが壊れレンズが落下してけがをしたり、カメラを傷つける恐れがあります。専用のストラップをレンズ側の取り付け部に正しく付けてご使用ください。
- レンズケースの上には乗らないでください。転倒してケガをすることがあります。
- レンズケースを積み重ねないでください。倒れてきてケガをすることがあります。

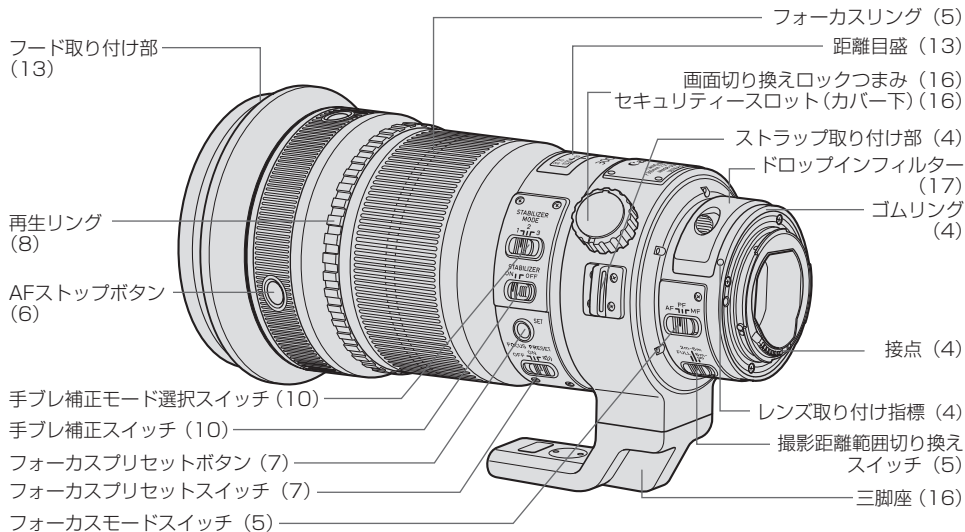
取り扱い上のご注意

- **レンズを寒いところから暖かいところに移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。**そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。また、暖かいところから寒いところに移すときも、同様にしてください。
- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。**レンズの故障の原因になることがありますので、このような場所にレンズを放置しないでください。**

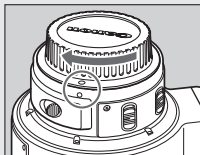
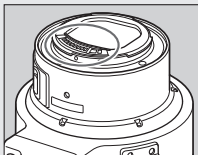
本文中のマークについて

撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項などが書いてあります。

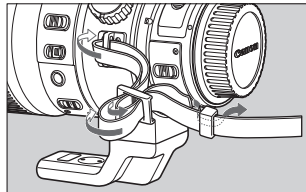
基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書いてあります。

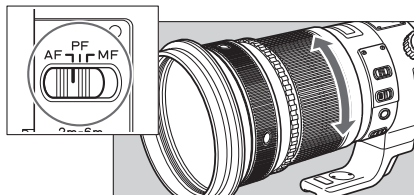
各部の名称

- 本使用説明書内のイラストは、一部を除きEF300mm F2.8L IS II USMをもとに説明していますが、EF400mm F2.8L IS II USMともに、操作部は共通です。
- （＊＊）の＊＊部は参照ページを示しています。

1. レンズの着脱

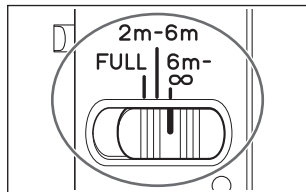
レンズの着脱方法については、カメラの使用説明書を参照してください。

- レンズを外したときは、接点やレンズ面を傷付けないように接点を上にして置いてください。
- 接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となることがあり、カメラやレンズが正確に作動しないことがあります。
- 汚れや指紋などが付着した場合は、柔らかい布で接点を清掃してください。
- レンズを外したときは、ダストキャップを付けてください。取り付けは、図のようにレンズ取り付け指標とダストキャップの○の指標をあわせて時計方向に回します。取り外しは、逆の手順で行います。

このレンズでは、防塵・防滴を向上させるため、マウント部にゴムリングを採用しています。レンズの着脱を繰り返すと、カメラ本体のマウントの外周部分にゴムリングの細い擦れ跡が付くことがありますが、使用上の問題はありません。
なお、ゴムリングはキヤノンサービスセンターで交換できます。（有料）

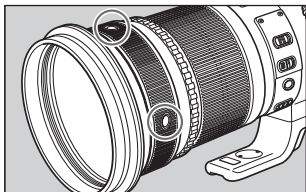
ストラップの取り付け方

ストラップの先端を、ストラップ取り付け部に通し、さらにストラップに付いている留め具の内側を通します。ストラップを引っぱって、留め具の部分がゆるまないことを確認してください。

2. フォーカスモードの設定

オートフォーカス（AF）で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをAFにします。
マニュアルフォーカス（MF）で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをMFにし、フォーカスリングを回します。フォーカスリングは、フォーカスモードに関係なくいつでも動かせます。
パワーフォーカス(PF)で撮影するときは、フォーカスプリセットスイッチ（P.7）がOFFの状態で、フォーカスモードスイッチをPFにします。
再生リングを操作することで、一定速度でピント送りが行なえます。動画撮影時のピント送りに便利です。

カメラのAFモードがONE SHOT AFのときは、AFでピントを合わせたあと、シャッター半押し状態でフォーカスリングを回すと、任意にピントを調整できます。（フルタイムマニュアルフォーカス）

3. 撮影距離範囲の切り換え

撮影距離範囲をスイッチで選べます。撮影距離に応じた設定にすることで、AF作動時間が短くなります。

レンズ	切り換え範囲
EF300mm F2.8L IS II USM	FULL
	2m-6m
	6m-∞
EF400mm F2.8L IS II USM	FULL
	2.7m-7m
	7m-∞

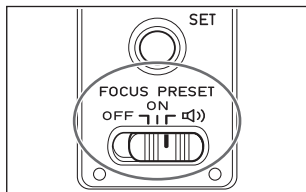
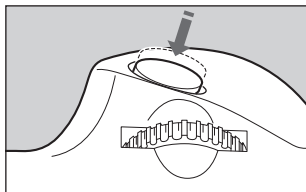
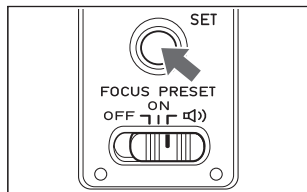
4. AFストップボタン

AF作動中にAFストップボタンを押すと、AFを一時中断することができます。
シャッターボタンを半押しした状態で、AFストップボタンを離すと、AFが再開します。

AI SERVO AFでの撮影中にも有効です。
なお、AFストップボタンの角度位置は、キヤノンサービスセンターで調整できます。（有料）

- EOS 630, RT, 5, 10使用時に、AFモードがAI SERVO AFで、フィルム巻き上げモードが連続撮影のときは、AFストップボタンを離してもAFが作動しません。シャッターボタンを半押ししなおしてください。
- EOS 5, 10使用時にスポーツモードを選択したときは、AFストップボタンを離しても、AFは作動しません。シャッターボタンを半押ししなおしてください。
- カメラのカスタム機能により、AFストップボタンの機能を変更することができます。詳しくはカメラの使用説明書を参照してください。

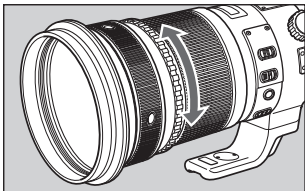
5. フォーカスプリセット

任意のピント位置をレンズに記憶させておくと、他の被写体を撮影していても、瞬時に記憶させたピント位置に戻すことができます。フォーカスモードがAF/PF/MFのどの場合でも使用できます。

〈 設定 〉

1 フォーカスプリセットスイッチをONまたは🔈))にします。

2 シャッターボタンを半押しし、記憶させたいピント位置に合わせます。

3 フォーカスプリセットボタンを押します。

- ピント位置が記憶されます。
- フォーカスプリセットスイッチが🔈))にあるときは“ピッ”という電子音がします。

フォーカスプリセット

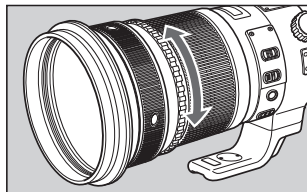
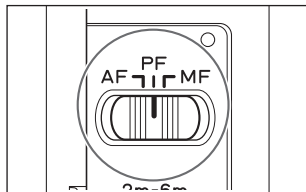
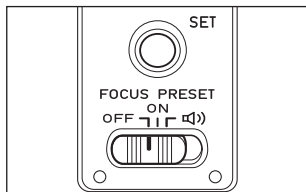
〈 再生 〉

再生リングを左右いずれかに回転させると記憶させたピント位置まで移動します。
再生リングを回転させた状態では、AF合焦に関係なくレリーズが可能です。

● フォーカスプリセットスイッチが🔊にあるときは"ピピッ"という電子音がします。

● 再生リングを回すときは、シャッターボタンから指を離してください。AFモードがONE SHOT AFのときは、露出はシャッターボタンを半押ししてピントが合ったときにロックされますので、シャッターボタンを半押ししたまま再生リングを回すと、露出が適正にならないことがあります。
● フォーカスプリセットを使用しないときは、スイッチをOFFにしてください。
● カメラでライブビュー映像を表示中は、フォーカスプリセット機能が働きません。

次のときは距離目盛（P.13）が一瞬左右に少し動きますが、撮影結果への影響はありません。
- フォーカスプリセットボタンを押したとき
- 再生リングを回転させたとき

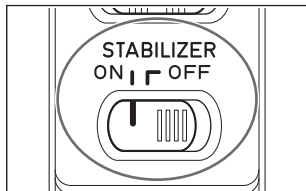
6. パワーフォーカス（PF）モード

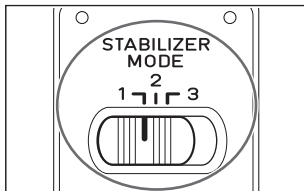
再生リングの操作で、スムーズなピント送りが行なえます。
動画撮影時のピント送りに便利です。

1 フォーカスプリセットスイッチがOFFの状態で、フォーカスモードスイッチをPFにします。

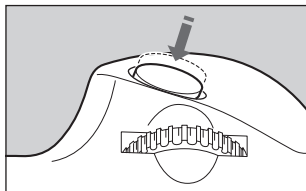
2 再生リングを回転操作してピントを送ります。

再生リングの回転方向は、フォーカスリングの回転方向と同じ向きにピントが送られます。
再生リングの操作角度によって、ピント移動速度を2段階に切り替えることができます。

7. 手ブレ補正機能

手ブレ補正機能はフォーカスモードがAF/PF/MFのどの場合でも使用できます。

1 手ブレ補正スイッチをONにします。

- 手ブレ補正機能を使用しないときはスイッチをOFFにします。

2 手ブレ補正モードを選択します。

- MODE 1：すべての方向の手ブレを補正します。主に静止した被写体の撮影で効果を発揮します。
- MODE 2：水平方向の流し撮りのときは上下方向の手ブレ、垂直方向の流し撮りのときは左右方向の手ブレを補正します。
- MODE 3：露光中のみ手ブレを補正します。流し撮りのときは、露光中にMODE 2と同じく一方向のみの手ブレを補正します。

3 シャッターボタンを半押しした後、全押しして撮影します。

- MODE 1, 2：半押しすると、ファインダー像が安定し手ブレ補正機能が働きます。
- MODE 3：半押しすると、手ブレ補正の演算が始まり、全押しすると、手ブレ補正機能が働きます。

8. 手ブレ補正機能の有効な使い方

このレンズの手ブレ補正は、次のような条件の手持ち撮影で効果を発揮します。

● MODE 1

ON

OFF

- 夕景や室内など、薄暗い場所
- 美術館や舞台など、ストロボ撮影が禁止されている場所
- 足場が不安定な状況
- その他、速いシャッター速度が使用できない状況

● MODE 2

ON

OFF

- 移動する被写体を流し撮りする場合

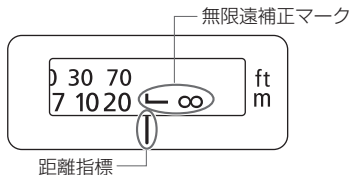
● MODE 3

- 露光中のみ手ブレを補正するため、スポーツ写真などで不規則に素早く動く選手を撮影する際、被写体を追いかけやすくなります。

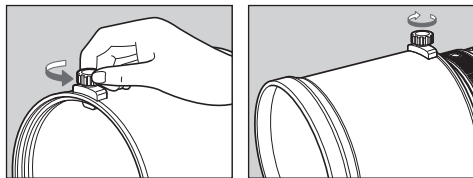
手ブレ補正機能の有効な使い方

- 被写体が動いてしまう「被写体ブレ」は補正できません。
- バルブ（長時間露光）撮影のときは手ブレ補正スイッチをOFFにしてください。ONにすると手ブレ補正機能が誤作動することがあります。
- 次のような状況では、手ブレ補正効果が十分に得られないことがあります。
  - 大きく揺れ動く乗り物から撮影するとき
  - MODE 1で、カメラを大きく動かして流し撮りをするとき
- 手ブレ補正機能を使用すると、通常より電力が必要なため、撮影可能枚数が少なくなります。
- シャッターボタンから指を離しても、約2秒間は手ブレ補正が作動しています。この間はレンズを外さないでください。故障の原因になります。
- EOS-1V/HS、3、7、7s、55、Kiss III、Kiss III L、IX E、D30のセルフタイマー撮影では、手ブレ補正機能は作動しません。

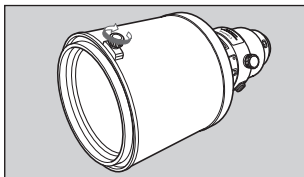
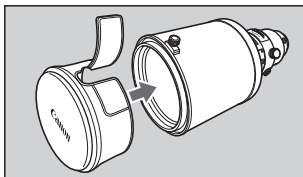
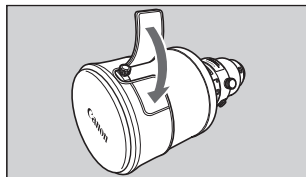
- 三脚を使用した場合もブレ補正効果が得られます。ただし三脚の種類や撮影条件により、手ブレ補正機能をOFFにした方が良い場合があります。
- 一脚を使用した場合も、手持ち撮影と同等の手ブレ補正効果がありますが、撮影環境によっては、IS効果が低下する場合があります。
- 手ブレ補正機能はエクステンションチューブEF12 II/EF25 IIまたはエクステンダー EF1.4×III/EF2×IIIを使用しても作動します。
- カメラによっては撮影後などに像ゆれが発生することがありますが、撮影への影響はありません。
- カメラのカスタム機能でAF作動操作を変更したときは、変更後のAF作動ボタン操作でも手ブレ補正機能が作動します。

9. 無限遠補正マーク

温度変化によるピント移動を補正するため、無限遠（∞）位置に余裕を持たせてあります。常温の無限遠位置は、距離目盛のLマークの縦線と距離指標が合うところです。

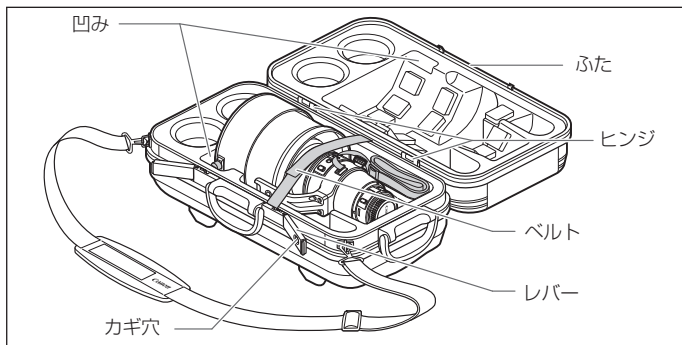
無限遠の被写体に、MFで正確にピントを合わせる場合は、ファインダーで確認しながらフォーカスリングを回してください。

10. フード

各レンズに付属している専用フードは、有害光線をカットするとともに、雨・雪・ほこりなどからレンズ前面を保護します。

フードを取り付けるときは、フードのロックつまみを反時計方向に回してゆるめます。フードをレンズのフード取り付け部にあわせ、ロックつまみを時計方向に回して確実に固定します。フードを外すときは、逆の手順で行います。

11. レンズキャップの付け方

1 フードをレンズ本体に逆向きにかぶせ、ロックつまみを回して確実に固定します。

2 面ファスナーを広げ、キャップのタテ溝にロックつまみを沿わせてかぶせます。

3 キャップの窓部から、ロックつまみを出して、図のように、面ファスナーで締め付けて固定します。

- レンズを使用状態の時にも、フードの先端に装着できます。

12. ケース

イラストはEF400mm F2.8L IS II USMです。

収納は次の手順と方法で行います。

1 フードを逆向きにかぶせ、レンズキャップを付けます。

2 図のように三脚座を手前にしてケースに入れます。

フードのロックつまみの位置は、ケースの手前の凹みに合わせます。

ストラップは、たたんでケースのヒンジ側のスペースに収納します。

3 ベルトでレンズをしっかり固定します。

4 ふたを閉めて、上から押さえながらレバーを押し、カギをかけます。

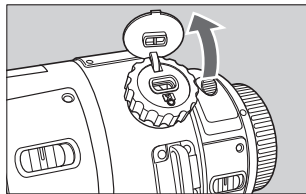
- レンズケースには腰掛けないでください。
- レンズは決められたポジションに収納してください。

13. 三脚座の使用方法

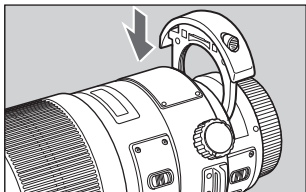
三脚または一脚は、レンズの三脚座に取り付けます。

レボルビング（回転）
三脚座の画面切り換えロックつまみをゆるめると、カメラごと任意に回転させて画面の縦位置と横位置が変えられます。

三脚座の交換（EF400mm F2.8L IS II USMのみ）
キヤノンサービスセンターで、付属の一脚座に交換できます。（有料）
固定方法が特殊ですので、安全のためお客様ご自身では交換しないでください。

14. セキュリティースロット

画面切り換えロックつまみのカバーの下に、セキュリティーワイヤーの取り付け部を備えています。
セキュリティーワイヤーは市販品をご利用ください。

15. ドロップインフィルター

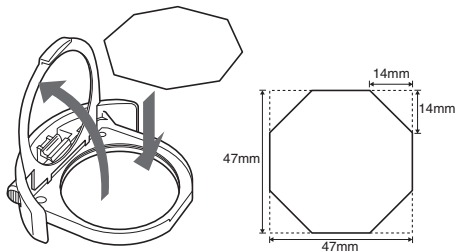
本レンズには、ガラスフィルター付きのドロップインゼラチンフィルターホルダー 52（WII）が付属しています。ゼラチンフィルター（市販品）をホルダーにはさんで使用できます。

〈 着脱 〉

取り外しは、左右のロック解除ボタンを押しながら、まっすぐ上に引き抜きます。

取り付けは、“カチッ”と音がするまで押し込みます。

● 前後どちらの向きでも構いません。

本レンズはガラスフィルターを含めて光学設計されていますので、ゼラチンフィルターを使用しないときにも必ずドロップインゼラチンフィルターホルダーを装着してください。

〈 ゼラチンフィルターの使用 〉

1 ホルダーの押さえ板を持ち上げます。

2 ゼラチンフィルターを図のように切り、ホルダーに乗せます。

3 ホルダーの押さえ板をもとの位置に戻します。

別売でドロップインスクリューフィルターホルダー 52（WII）、ドロップイン円偏光フィルター PL-C52（WII）が用意されています。

16. エクステンダー（別売）

エクステンダー EF1.4×II/IIIおよびEF2×II/III使用時のレンズの仕様は次のようになります。

		EF300mm F2.8L IS II USM		EF400mm F2.8L IS II USM	
		EF1.4×II/III	EF2×II/III	EF1.4×II/III	EF2×II/III
焦点距離（mm）		420	600	560	800
絞り数値		F4-45	F5.6-64	F4-45	F5.6-64
画角	対角	5°55'	4°10'	4°25'	3°5'
	垂直	3°15'	2°20'	2°25'	1°40'
	水平	4°55'	3°30'	3°40'	2°35'
最大撮影倍率（倍）		0.25	0.36	0.25	0.35

- レンズにエクステンダーを取り付けた後、カメラに取り付けてください。取り外しは逆の手順で行ってください。先にカメラを取り付けると、誤作動することがあります。
- EF300mm F2.8L IS II USM、EF400mm F2.8L IS II USMに、エクステンダー EF1.4×II/EF2×IIを使用し、EOS 5で撮影するときは、EF1.4×IIでは－1/2段分、EF2×IIでは－1段分の露出補正をしてください。
- エクステンダーは重ねて使用できません。

- エクステンダー EF1.4×II/IIIおよびEF2×II/III使用時はAF撮影ができます。
- エクステンダーを使用したときは、制御性を考慮してAF速度を遅くしています。

17. エクステンションチューブ（別売）

エクステンションチューブEF12 II/EF25 IIを使用して拡大撮影ができます。撮影距離範囲と撮影倍率は次のようになります。

EF300mm F2.8L IS II USM

	撮影距離範囲（mm）		撮影倍率（倍）	
	近距離側	遠距離側	近距離側	遠距離側
EF12 II	1700	7529	0.22	0.04
EF25 II	1480	3727	0.28	0.09

EF400mm F2.8L IS II USM

	撮影距離範囲（mm）		撮影倍率（倍）	
	近距離側	遠距離側	近距離側	遠距離側
EF12 II	2375	13353	0.21	0.03
EF25 II	2113	6494	0.26	0.07

正確なピント合わせのため、MFをおすすめします。

主な仕様

	EF300mm F2.8L IS II USM	EF400mm F2.8L IS II USM
焦点距離・明るさ	300mm F2.8	400mm F2.8
レンズ構成	12群16枚	12群16枚
最小絞り	F32	F32
画角	対角8°15'、垂直4°35'、水平6°50'	対角6°10'、垂直3°30'、水平5°10'
最短撮影距離	2.0m	2.7m
最大撮影倍率	0.18倍	0.17倍
画界	約136×205mm（2.0m時）	約139×208mm（2.7m時）
フィルター	ドロップイン52（WII）シリーズ	
最大径×長さ	128×248mm	163×343mm
質量	約2350g	約3850g
フード	ET-120（WII）	ET-155（WII）
レンズキャップ	E-145C	E-180D
ケース	レンズケース300B	レンズケース400C

- レンズの長さはマウント面からレンズ先端までの寸法です。
  キャップおよびダストキャップをつけたときの長さは寸法表示+26.5mmになります。
- 大きさ・質量表示は本体のみの値です。
- クローズアップレンズ250D/500Dは装着できません。
- 絞り値は、カメラ側で設定します。
- 記載データはすべて当社基準によります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品のアフターサービス期間は、製品製造打切り後7年間です。なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノンEFレンズホームページ

canon.jp/ef

キヤノンお客様相談センター

050-555-90002（直通）

受付時間〈平日〉9：00〜20：00〈土/日/祝〉10：00〜17：00〈1/1〜3は休ませていただきます。〉

※ 海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は03-3455-9353をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。